

# 白島石油備蓄株式会社

## I 法人の概要 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

1 所在地	東京都港区三田三丁目 13 番 16 号
2 設立年月日	昭和 56 年 6 月 8 日
3 代表者	代表取締役社長 瀧嶋 輝行
4 資本金	100,000 千円
5 北九州市の出資金	5,000 千円 (出資の割合 5.0%)
6 役員数	・役員数 7 人 うち常勤 5 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人) うち非常勤 2 人 ・職員数 89 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人)

## II 平成 23 年度事業実績

当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みがあったものの、年度半ばには個人消費等の持ち直しや企業収益改善の兆しが見受けられた。しかし、年度後半には海外経済の減速、円高の進行、タイの洪水の影響等から生産や輸出の伸びが鈍化するなど、先行き不透明な状況が続いた。

このような経営環境の下、昭和 56 年の会社設立以来、当期をもって創立 30 周年を迎えた。当期の業績については、平成 22 年 7 月に着手した貯蔵船白島六号水封タンク内防食工事を平成 23 年 9 月に、東日本大震災に伴う小名浜からの原油受入を同年 10 月に無事完遂した。また、東日本大震災を契機とする地震、津波対策についても、今後防災基本計画および地域防災計画の見直しに基づく独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）の方針に従って対応する予定である。

また、機構との平成 25 年度から平成 29 年までの 5 ヶ年に亘る次期業務委託契約の更新については、契約延長に向けた各評価手続きを実施した。

業務委託料については、当期は機構から 5,881 百万円の収入を得て、43 百万円の当期純利益を計上した。

## III 平成23年度決算

### 1 貸借対照表

平成24年3月31日現在(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,181,232	流動負債	1,424,841
現金及び預金	780,057	未払費用	1,293,980
営業未収金	1,246,592	未払法人税等	30,425
前払費用	8,338	未払事業所税	8,054
未収消費税等	98,116	預り金	3,194
未収入金	2,998	賞与引当金	89,186
繰延税金資産	44,665		
その他	463		

固 定 資 産	67,483	固 定 負 債	264,308
有 形 固 定 資 産	15,023	退 職 給 付 引 当 金	229,375
建 築 物	311	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	34,933
構 築 物	101	負 債 合 計	1,689,149
工 具 器 具 備 品	14,610	( 純 資 産 の 部 )	
無 形 固 定 資 産	13,633	株 主 資 本	559,566
電 話 加 入 権	84	資 本 金	100,000
ソ フ ト ウ ェ ア	13,548	利 益 剰 余 金	459,566
投 資 そ の 他 の 資 産	38,827	利 益 準 備 金	14,550
長 期 差 入 保 証 金	35,227	そ の 他 利 益 剰 余 金	445,016
長 期 前 払 費 用	3,600	別 途 積 立 金	90,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	355,016
		純 資 産 合 計	559,566
資 産 合 計	2,248,716	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,248,716

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

## 2 損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日 (単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		5,881,456
売 上 原 価		5,402,571
売 上 総 利 益		478,884
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		384,451
営 業 利 益		94,432
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	861	
雑 収 入	4,369	5,230
営 業 外 費 用		
雑 損 失	421	421
経 常 利 益		99,242
税 引 前 当 期 純 利 益		99,242
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	56,211	
法 人 税 等 調 整 額	▲ 542	55,668
当 期 純 利 益		43,573

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

## IV 平成24年度事業計画

来期は機構との国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（平成22年度から平成24年度までの3カ年）の最終年度に当たり、ゼロ災運動等により定着化しつつある請負会社を含む三位一体による安全管理体制を確固たるものとし、「安全・安定操業の継続」に努める。

また、機構との次期契約更新に向けて、「安全・安定操業の継続」に加えて「業務改善、コスト効率化の推進」、「人材の育成・モラルアップと組織の活性化」、「コンプライアンス意識の向上・定着（ルールを守る・守れる文化の定着）」および「地域社会との共生、環境との調和、品質の維持・向上」の推進を図るとともに、重要課題と位置付けている「人材育成」を基盤とした「個の強化と組織の活性化」に取り組む。

## V 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役員の種類	氏名	所属
代表取締役社長	瀧嶋輝行	白島石油備蓄株式会社
専務取締役	川口修	白島石油備蓄株式会社
取締役	山口洋史	白島石油備蓄株式会社
〃	岩崎徹	白島石油備蓄株式会社
〃	山村秀省	白島石油備蓄株式会社
監査役	馬場稔温	コスモ石油株式会社
〃	佐々木直	JX 日鉱日石エネルギー株式会社